

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成21年5月14日(2009.5.14)

【公開番号】特開2008-93278(P2008-93278A)

【公開日】平成20年4月24日(2008.4.24)

【年通号数】公開・登録公報2008-016

【出願番号】特願2006-280455(P2006-280455)

【国際特許分類】

A 4 7 L 9/20 (2006.01)

【F I】

A 4 7 L 9/20 5 2 1 E

A 4 7 L 9/20 C

A 4 7 L 9/20 5 1 1 D

A 4 7 L 9/20 5 3 1 A

【手続補正書】

【提出日】平成21年3月27日(2009.3.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

吸引風を生成するための送風機と、

前記吸引風に含まれる塵埃を捕集するためのフィルタと、

前記フィルタの前記吸引風に関する上流側の表面に付着した塵埃を、前記フィルタに振動を与えることによって離脱させるためのフィルタ除塵機構とを備え、

前記フィルタは少なくとも下流側から見て複数の山形状を平行に配置したブリーツ形状を有し、

前記フィルタ除塵機構は、前記吸引風の進行方向に平行な回転軸を中心に回転自在な状態で前記フィルタの下流側において前記フィルタに近接して配置される回転体を備え、

前記回転体の前記フィルタに対向する面には、前記回転体の回転動作によって前記フィルタの前記複数の山形状の頂点を掻くための振動生成突起が設けられている、電気掃除機。

【請求項 2】

前記送風機を収納する本体部と、

内部に塵埃を貯めるための塵埃収容部とを備え、

前記塵埃収容部は前記本体部に対して着脱可能となっており、

前記フィルタは前記塵埃収容部を前記本体部から取り外す際には前記塵埃収容部と一体的に前記本体部から取り外される構造となっており、

前記回転体は最外周に第 1 歯群を有し、

前記フィルタ除塵機構は、前記第 1 歯群と噛み合うように前記本体部に配置された第 2 歯群を備え、

前記第 1 および第 2 歯群は、前記塵埃収容部を前記本体部に対して取り付ける動作および前記本体部から取り外す動作のうち少なくとも一方の動作の際に前記第 1 歯群と前記第 2 歯群とが噛み合うことによって前記回転体を回転させることが可能なように配置されている、請求項 1 に記載の電気掃除機。

【請求項 3】

一定方向に気体を通過させることによって集塵するためのフィルタと、
前記フィルタに対向する面を有する回転体と、

前記回転体を、前記フィルタの通過方向に平行な回転軸を中心に回動自在な状態で前記フィルタの下流側において前記フィルタに近接するように支持するための支持部材とを備え、

前記回転体の前記フィルタに対向する面には、前記回転体の回動動作によって前記フィルタの表面を掻くための振動生成突起が設けられている、除塵機構付きフィルタ。

【請求項 4】

一定方向に気体を通過させることによって集塵するためのフィルタの下流側に設置されるためのフィルタ除塵機構であって、

前記フィルタに対向するための面を有する回転体と、

前記回転体を、前記フィルタの通過方向に平行な回転軸を中心に回動自在な状態で前記フィルタの下流側において前記フィルタに近接するように支持するための支持部材とを備え、

前記回転体の前記フィルタに対向するための面には、前記回転体の回動動作によって前記フィルタの表面を掻くための振動生成突起が設けられている、フィルタ除塵機構。